

2015年度第1回\_学力推移調査\_中1国語過去問

問題1：

を、後の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。  
次の(1)～(3)の傍線部の漢字の読み方がほかと異なるものを

設問1： (1)

①

時間

②

世間

③

間食

④

間接

1

2

3

4

設問2： (2)

①

引力

②

念力

③

知力

④

体力

1

2

3

4

設問3： (3)

①

有名|

②

名|所

③

名|字

④

記|名|

1

2

3

4

問題2：

次の(1)～(3)の傍線部のカタカナを漢字で書いたときに、同じ漢字で書くものを、後の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

設問1：

(1) チョウ理実習を行う。

- ① しっかりチョウ食を食べよう。
- ② 山のチョウ上まで登った。
- ③ 自分の意見を主チョウする。
- ④ 都市の生活についてチョウ査する。

1

2

3

4

設問2 :

- (2) 国の財政再ケンを目指す。
- ① 車両を点ケンする。
  - ② 保育園をケン設する。
  - ③ ケン究成果を発表する。
  - ④ 土地のケン利をゆずる。

1

2

3

4

設問3 :

- (3) 飛行機を操ジユウする。
- ① 事故でジユウ傷を負う。
- ② 飼い主にジユウ順な犬。
- ③ 日本をジユウ断する旅に出る。
- ④ 一日ジユウ、本を読んで過ごす。

1

2

3

4



問題3：

「希望」と同じ組み立てになっている熟語を、後の①～⑧のうちから二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。

設問1 :

⑤ ①

遠近 表示

⑥ ②

除去 失礼

⑦ ③

真逆 背景

⑧ ④

無敗 不明

1

2

3

4

5

6

7 8

## 〈問題3の解説〉

熟語の構成に関する設問。

熟語の構成には、次のような種類がある。

- ア 上と下が主語と述語の関係 [例] 自作
- イ 上が下を修飾する関係 [例] 流水
- ウ 下が上の目的や対象となる関係 [例] 育児
- エ 似た意味の重なり関係 [例] 存在
- オ 上下が対になる関係 [例] 断続
- カ 上が下を打ち消す関係 [例] 不安

これに沿って熟語の構成を考えると、「希望」は「希」も「望」も〴〵のぞむ〴〵という意味なので、似た意味の重なり関係であることがわかる。①の「表示」の「表」は〴〵表す〴〵、「示」は〴〵示す〴〵という意味なので、似た意味の重なり関係である。また、⑥の「除去」の「除」は〴〵除く〴〵、「去」は〴〵去る〴〵という意味なので、似た意味の重なり関係であることがわかる。よって、正解は①と⑥。

②の「失礼」は〴〵礼を失する〴〵という意味なので、下が上の目的や対象となる関係。③の「背景」は〴〵後ろの景色〴〵という意味なので、上が下を修飾する関係。④の「不明」は上が下を打ち消す関係。⑤の「遠近」は上下が対になる関係。⑦の「真逆」は上が下を修飾する関係。⑧の「無敗」は上が下を打ち消す関係となっている。

問題4：

次の(1)・(2)の意味を表す四字熟語として最も適当なものを、後の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

設問1：

(1) 大勢の人が同じ意見を言うこと。

- ① 異口同音
- ② 意味深長
- ③ 一心同体
- ④ 十人十色

1

2

3

4

設問2 :

- (2) 劇的で激しい変化があること。
- |          |          |
|----------|----------|
| ③        | ①        |
| 波瀾<br>万丈 | 起死<br>回生 |
| ④        | ②        |
| 前代<br>未聞 | 本末<br>転倒 |

1

2

3

4

問題5：

次の(1)・(2)の傍線部の言葉の意味として最も適当なものを、後の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

設問1：

(1) 今が引退の潮時だ。

- ① ものごとの終わりの時
- ② ものごとをするのに適当な時
- ③ ものごとを始めるはずみ
- ④ 時のめぐり合わせ

1

2

3

4



設問2 :

- (2) 気が置けない間柄。あひだから
- ① 心から打ち解ける
  - ② 気になって落ち着かない
  - ③ 油断がならない
  - ④ 引け目を感じる

1

2

3

4

問題6：

次の会話文は中学一年生のAさんが帰宅後、中学校に電話をし、担任のB先生と話したときのものである。傍線部A～Gのうち、敬語の使い方が誤っているものを、後の①～⑦のうちから三つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。

設問1：

- ⑥ F      ⑦ G      ① A      ② B      ③ C      ④ D      ⑤ E

Aさん「もしもし、私、一年一組のAとおっしゃいます。」

B先生は「いらっしゃいますか？」

学校の人「少し、お待ち下さい。」

B先生「お電話代わりました。Bです。どうしましたか？」

Aさん「明日の文化祭のことですか？<sup>C</sup>がいたことがあってお

電話しました。」

B先生「なんででしょうか？」

Aさん「明日の朝、準備で早く登校したいのですが、先生は

何時ごろ参りますか？<sup>D</sup>」

B先生「そうですね。七時には学校にいます。」

Aさん「七時過ぎに準備をしてもよろしいでしょうか？」

B先生「いいですよ。」

Aさん「ありがとうございます。では、七時過ぎに学校に

参ります。<sup>E</sup>よろしく願います。<sup>F</sup>では、失礼<sup>G</sup>

なさります。」

- 1  
 2  
 3  
 4  
 5

6

7

<問題6の解説>

敬語に関する設問。

 押さえよう

敬語の種類

● 尊敬語：動作主を高めて、敬意を表す語。

【例】 なさる いらっしゃる

おっしゃる

● 謙譲語：動作主を低めて、それにより動作の受け手を高める語。

【例】 申し上げます 参る うかがう

● 丁寧語：丁寧な言葉遣いで相手への敬意を表す語。

【例】 です ます ございます

これをふまえて傍線部を見ていくと、

- ①（傍線部A）は、自分の動作・状態に尊敬語を使っているので誤り。②（傍線部B）は、先生の動作・状態に尊敬語を使っているので正しい。③（傍線部C）は、自分の動作に謙譲語を使っているので正しい。④（傍線部D）は、先生の動作に謙譲語を使っているので誤り。⑤（傍線部E）は、自分の動作に謙譲語を使っているので正しい。⑥（傍線部F）は自分の動作に謙譲語を使っているのので正しい。⑦（傍線部G）は、自分の動作に尊敬語を使っているので誤り。誤っているものを選ぶので、①と④と⑦を選ぶべき。